

会 議 録 (1)

会議の名称	令和元年度第1回桶川市総合教育会議
開催日時	令和元年8月22日(木) (開会)午後2時00分・(閉会)午後4時00分
開催場所	桶川市役所会議室303
出席者構成員	小野克典(市長)、岩田 泉(教育長)、水村実男(教育長職務代理者)、 小野原典子、西永和子、秋山節子
欠席者構成員	1名
傍聴人数	2名
事務局職員 職名及び氏名	企画財政部 企画調整課 教育部 教育総務課・学校支援課
会 議 事 項	議 題
	1. 議題 (1) 英語教育について (2) 教育機器の活用について 2. 報告事項 (1) いじめの状況報告について
	決定事項等
	1. 議題 (1) 英語教育について：審議終了 (2) 教育機器の活用について：審議終了
配 布 資 料	・第1回桶川市総合教育会議次第 ・日程第2 議題 資料 ・日程第3 報告事項資料

会 議 録 (2)

議 事 の 経 過	
発言者	発 言 内 容
教育長	令和元年度第1回桶川市総合教育会議を開会する。
市 長	<p>日程第1 あいさつ</p> <p>市内全小中学校のトイレ改修等工事を平成29年度から4年間の計画で実施し、昨年度は4校で工事が完了した。今年度は4校、来年度は3校を工事予定である。大阪北部地震でのブロック塀倒壊事故の発生を受けて緊急に実施した全小・中学校の安全対策工事は、6月に全て完了した。</p> <p>4月から坂田図書館が開館し順調に稼働した。4館のネットワークを活かしてサービスの充実に努める。</p> <p>総合教育会議は、滋賀県大津市で起きたいじめ問題がきっかけとなって設置され、5年目を迎えた。市は、すべての児童生徒の健やかな成長を願い、いじめの根絶に強い決意で取り組む。未然防止と早期発見の重要性を認識し、教職員が子供と向き合える環境を整備する。子供たちが安全で安心して、快適に学校生活を送れるよう、一層努力したい。委員の皆さまのお力添えを賜りたい。</p>
教育長	<p>コミュニティスクールが今年度から小学校2校でスタートした。来年度に向けて中学校での準備委員会が開かれており、再来年度には全校で始まる。総合教育会議での協議の成果のひとつである。</p> <p>6月下旬に、教育委員と事務局の代表が「教育ITソリューション」を見学した。ICT教育に関し義務教育で何をどうすれば良いか考えさせられる時間であった。</p> <p>また、南部地区の教育長会議の出席者は、今年度行った小学校教科用図書採択の際に多くのQRコードが示されていたことから、教育機器を用いた授業が現在の整備状況で対応できるのか、との不安を訴えていた。来年度予定の中学校教科用図書の採択では更にQRコードが増えると思う。</p> <p>会議の最後に、いじめの状況報告をする。学校が元気になり、桶川の子供たちが生き生きと学び、すくすくと育つような教育環境を実現するため、市長と教育委員会が一層の相互理解を深めていける会議としたい。</p>

議 事 の 経 過	
発言者	発 言 内 容
教育長	<p>日程第2 議題</p> <p>(1)(2)とも前回からの継続審議である。それぞれ、前回の内容を含めての説明を求める。説明の後、質疑、協議とする。</p>
事務局	<p>(1)「英語教育について」</p> <p>(資料に基づき説明)</p>
構成員	<p>実際にかかる費用の担保はどう考えているか。</p>
事務局	<p>県や文部科学省、派遣委託事業者との研修を活用して費用を抑えたい。</p>
構成員	<p>東京での展示会を見学して、桶川市のICT環境との差を実感した。来年度から使う教科書にはQRコードがある。本気で考えないと厳しい状況だ。限られた予算でできる事とできない事を、市長部局と教育委員会が互いに認識する必要がある。</p>
教育長	<p>英語教育への財政投資は優先順位をつけて対応せざるを得ない。前回の会議で出た6つの課題の優先順位はどうか。</p>
事務局	<p>一番の優先はハード面の充実、二番目にALTの増員を優先したい。全ての授業で担任とALTでの2人体制をとることが理想であり、その他は同列である。</p>
構成員	<p>皆の最大の関心は、来年度から始まる英語教育に桶川市は対応できるか、だと思う。このように行うから大丈夫だ、ということを知りたい。</p>
事務局	<p>桶川市の英語教育は、各教員の努力により高い水準にある。来年度から新学習指導要領が全面実施になる小学校で、現在は個々の努力で対応しているが、全体を同じ水準に引き上げていきたい。それに必要なICT環境整備が著しく遅れているので、まずは整備状況を上げたい。次の段階で、授業数が増える中で担任の負担減と英語教育の全体水準を滑らかにするためにALTの人数の確保が必要である。</p> <p>GTEC等は今後の投資である。令和3年度から中学3年生で導入するため、今の高い水準を保ちたい。小学校教員の研修は充実しているが、今後は中学校の教員に対する研修をしないと投資にはならない。</p> <p>授業水準を平均化するためにICTの導入を第一優先としたい。また、新学習指導要領の導入の機会に、近隣市の状況から考えても、桶川市でもALTを2名増員したい。喫緊に平均水準まで引き上げる部分と、今後の投資という2面から順位を</p>

議 事 の 経 過	
発言者	発 言 内 容
構成員	<p>付けた。</p> <p>英語教育をしっかりと取り組むための最大の要素は「人材」だと思う。時間はかかるが、今は個々の努力で頑張っているところを、学校やチーム、市全体に広げて人材教育することが大事である。教材研究にも時間のゆとりが関連する。給食費公会計化や教材費の引落としなどの働き方改革で先生方の時間的余裕をつくり、先生が英語教育を開拓できたら良い。</p> <p>「苦手意識を生じさせない」に関しては、自己肯定感を高める取組や図画の授業など英語以外に活躍できる場も大事にしてほしい。基盤は読み書きなので読書活動も大事にしてほしい。教育全体のバランスをとり、英語が苦手でも他に得意科目がある子供の気持ちを大事にして、桶川の子供たちの将来が生き生きとあってほしい。</p>
教育長	<p>英語教育だけに傾注しすぎてはいけない。バランスを崩さず、児童生徒が生き生きと過ごせるようにしていきたいが、事務局としてはどう考えているか。</p>
構成員	<p>時期的に注目されているが、英語は教科や活動の一つと捉えて、学校生活の中に子供たちが惹かれる場所を少しでも多く作っていきたい。また、市教委主催の研修なども確保し、負担がかからないように教員を育てていくことが必要と考える。</p>
教育長	<p>教員に新たな研修の時間をとることは難しく、O J Tが必要である。</p> <p>O E C Dの中では日本の教員の研修時間は最低で、教員の質を高めていく必要がある。子供と向き合いながら研修を受ける体制に期待する。日本では、国が定める学習指導要領に沿った教育を進めなければならない、1 団体のみやらないという事はできない。</p>
市 長	<p>必要性と効果を、今後の財政部局との折衝で明確に訴えてほしい。具体的な資料を作成し、今後の取組として進める決意が見えるようにしてほしい。</p>
事務局	<p>QRコード付きの教科書の利用には、インターネットにつながっている必要がある。タブレットを買っても環境がないと意味がない。先にW i f i環境を整えるなど、整備の段取りをきちんと決める必要がある。</p> <p>英語教育の根本は外国の人と話をするためなので、子供たちの世界を見る目を育てる教育をもっとした方が英語に興味をもって勉強すると思う。今は全体最適の形</p>

議 事 の 経 過	
発言者	発 言 内 容
構成員	<p>になっていない。どんな政策のパッケージが効率的で子供たちにとって良いのかを議論してほしい。</p> <p>ALTの授業を見学したとき、子供たちは、外国の方がいるという事に物凄くインパクトを受けていた。ただし、ALTに全てを任せるのではなく、制度をうまく利用して、先生方の力量が上がることを期待する。それが子供たちの世界を見る目につながっていくと良い。</p>
教育長	<p>《協議のまとめ》</p> <p>① 一番には大型モニターの整備、二番目にALTの増員を優先したい。その他は三番目の課題として3段階に整理することで、来年度からの対応に係る不安感を払拭したい。</p> <p>② 長期で見れば人材育成が最も重要で、当面はOJTにより力をつけていくこと。</p> <p>③ バランス感覚を忘れず、トータルの人格形成に向けて支援することが教育の目的である。何かに特化しすぎた教育では違った課題が噴出する恐れがある。新しいことに対するバランス構築には時間がかかるが、常にその視点で対応する必要がある旨を他の会議等でも話していく。</p> <p>④ ALTが外国の方であることは、緊張感もあり授業に寄与し意味のあること。</p> <p>⑤ 必要性をどう具体的に表すか研究し、予算獲得に向けて他部署と連携を図ること。</p>
事務局	<p>(2)「教育機器の活用」について</p> <p>資料に基づき説明及び教育機器を使った中学校1年生理科の模擬授業</p> <p>《授業事例》</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>2つの素材の違いについて（実物を見比べる）</li> <li>三原山と昭和新山を事例に、2つの火山の違いを学ぶ（大型提示装置を利用した授業）</li> </ol> <p>《体験内容》</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>大型提示装置利用の有無による授業の違いの体験</li> </ol>

議 事 の 経 過	
発言者	発 言 内 容
	2. 主体的、対話的な授業の体験
事務局	教科書にQRコードがあっても、W i f i 環境がないと大型提示装置で映すことはできない。機器の購入よりも先に、環境整備が必要である。
構成員	環境の整った他市から桶川に転入してくる先生は、良い教材を作っても桶川で生かすことができない。先生方の負担軽減の面からも、大型モニターやW i f i の整備は早急にしてほしい。
教育長	教職員の声は耳に入っているか。
事務局	研修に各市町から参加した教員の話を見ると、社会科では映像を使うことが多く、全教室に大型提示装置や電子黒板やW i f i が入っている市もあるが、学校に1台しかない市町もある。環境の差が大きいようだ。
構成員	授業を体験し、本当に惹きこまれる楽しい授業と感じた。大型提示装置整備は186学級に対し43台という整備状況で、学校ではP T Aがバザーの模擬店での売り上げから買っている例もある。とても足りていない。一度に各学級に入れることは難しくても、できるだけ早く2クラスに1台程度入れることは必要と感じた。
教育長	子供たちの映像に関する意識は昔より高くなっている。教科書も色や写真が多く使われている。それらの情報を、目で吸収しながら学習することに慣れ親しんで育ってきた子供たちには違和感はないと想像する。  国の大胆な提案に、全国の自治体は対応できるのかと疑問である。基本的なアイテムが無いと次に続かないし、使いこなさないと税金の無駄になる。教職員の技術力を育てないと宝の持ち腐れとなる。両方が同時に動かないと効果がない。
構成員	8月15日の読売新聞に、政府は来年度から全ての中学校に超高速通信網の整備に乗り出す旨の記事がある。インターネットを通じた遠隔教育を更に充実させ3年間で整備するとのこと。大型モニターの整備のほかタブレット端末を児童生徒に一人一台配備するとのこと、それが実際の世の中の動きである。桶川市もはっきり目標を出さないといけないと思う。100%国から補助金が出るものではないので、受け皿となる市の予算がないと補助制度を利用できない。もう一歩進むよう、計画を見

議 事 の 経 過	
発言者	発 言 内 容
	<p>直して進めてほしい。</p> <p>現場の先生方の声はどうか。せっかく、高度な技術をもった先生が転入しても埋もれてしまう。自分たちも底上げしていかないと 10 万人未満の都市では周りに埋没してしまう。</p> <p>教員の技術力の課題は、周りの人が使っていれば一生懸命取り組むと思うが、機材がないことには進まないと思う。他市と同等程度にやっていないと転出入する先生方が可哀想だ。教育の均一化とともに先生の均一化でもある。</p>
構成員	<p>以前の教育委員会で、教室のクーラー設置が議題となった。その頃は、暑くても子供は学べるだろうとの意見もあったが、今ではクーラーがないことは考えられないほど暑さがひどくなり環境がすごく変わった実感がある。怪我をした際には洋式トイレの必要性を感じた。「必要な人」には、きれいさ以上に「必要度」が高くなる。事例は異なるが、発達に課題を抱えた子供にも、I C T 教育で映像が利用できれば「映像なら理解できる」という子供たちの環境が整ってくる。早急にできないことは重々理解するが計画的な導入を考えてほしい。</p>
教育長	<p>時代を読むことが大切との意見であった。クーラーもトイレも現市長になって整備が進んだ。時代の流れの中で、必要性が止まることはなく、10 年 20 年先を見る必要について同感である。学校のプールの有無によって水泳を体験したか否かの事例もある。義務教育での機会均等は国の責任である。しかし、潤沢な予算がない中でどんな工夫ができるのか。悲しい思いや、体験ができないまま卒業する子供を作らないためにどうしたらよいかを考え見直していかないと、教育に携わる立場として子供たちに申し訳ない。</p>
構成員	<p>W i f i がないと映像を映せないからタブレットや大型提示装置は無駄、ということではない。5 年計画では、環境のある学校と無い学校で、児童が卒業してしまうほどの時間差がある。できるなら、すぐにでもW i f i を整備してほしい。</p>
教育長	<p>パソコンルームにはW i f i がある。事前に取り込んでいれば教室でそのデータを表示できる。</p>

議 事 の 経 過	
発言者	発 言 内 容
市 長 事務局	<p>国から方針が示されたことに対し、国からの補助制度はないのか。</p> <p>補助制度はあるが、桶川市の場合はその条件に該当しない。その動向は重視して使える補助金は利用する。I C T教育以外にも整備することがあるので、教育部としてどこに優先順位をつけるのか精査して進めたい。</p> <p>国が示すステップは4段階で、最初に大型提示装置、その次に無線L A Nとしている。本市としては、まず、ある物をフル稼働するように使いたい。学校側のソフト面の課題にも働きかけをしたい。必要数量のニーズは調査しており要望は格段にあがっている。その期待に応えつつ優先順位をつけて進めたい。</p>
市 長 事務局	<p>上尾市の状況はどうか。大型提示装置が全教室にあるのか、電子黒板なのか。</p> <p>電子黒板ではなく大型提示装置である。</p> <p>書くことも大事なので、桶川市では電子黒板ではなくモニターを整備したい。</p>
市 長 事務局	<p>稼働率はどうか。</p> <p>各学校では、電子黒板が各校2台、それ以外に各校で整備した大型テレビは各1・2台あるいは0である。小学校低学年で週に1時間か2時間程度、高学年でも6時間から8時間程度しか使えない。フロアに1台大型テレビを確保しても他の先生が使っていると同時に使えず、用意した教材を扱えない現状がある。中学校でも、先生によって使用頻度に差は有るが、台数が少ないので週に1から5時間の使用となっている。しかし、各教室に整備された場合は、小学校は週に15時間、中学校は週に20時間以上使いたいとの要望である。特に多いのは、英語や社会科で資料の提示をしたいとの意見である。</p>
市 長	<p>エアコンの導入時も様々な議論があった。1校ずつ工事して11年では遅すぎる、リースなら4年間で整備できるとの結果に至ってリースとした。I C Tの機器もリースはできないか。あらゆる教科に共通して活用できると思うので、財政措置も含めて、どうしたらどの程度充実できるか詰めて欲しい。</p>
構成員	<p>来年度は教科書改訂になる。学習指導要領が変わるので取り入れるには良い時期である。</p>
教育長	<p>せめて、階段を移動しなくてよい台数は整備したい。移動が多いと壊れやすく、</p>



議 事 の 経 過	
発言者	発 言 内 容
	10 分間の休み時間で移動させるのは非常に苦悩があると思う。早急に解決したい。
教育長	<p>《協議結果》</p> <p>教育機器の活用は必要感がある。財政措置が必要なため、財政部局に理解をいただけるよう色々な材料を準備して必要性を訴えること。</p>
	日程第3 報告事項
事務局	<p>(1) いじめの状況報告について</p> <p>(資料に基づき説明)</p>
教育長	質疑はあるか。
構成員	資料 19 ページは、桶川市の状況か。
事務局	桶川市の状況である。
構成員	いじめが原因で不登校となった場合は、「解消している」に入るか。
事務局	いじめが原因の不登校は重大事態として取り扱う。現在は桶川市内で事例がない。
構成員	いじめのアンケートは、年に何回行っているか。
事務局	児童には学期に1回(年3回)だが、学校によって、それ以上行うところもある。保護者には年に1回である。
教育長	他に質疑がないので報告を終結する。
	日程第4 その他
事務局	次回の総合教育会議の日程と内容は未定であり、今後、教育委員会で調整する。
教育長	以上をもって、令和元年第1回総合教育会議を閉会とする。